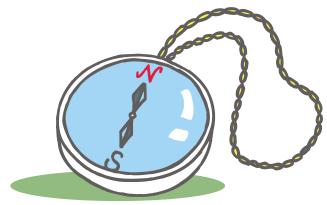


# 羅針盤



第 22 号

令和2年(2020年)10月26日(月)

## ◆ 読書の旅に出かけよう

こんな生き方があるんだといった新鮮な感動や、こんな世界があるんだといったワクワクするような喜び、そして、この先はどうなっていくんだろうといったドキドキするような好奇心、そんな「出会い」を1冊の本がかなえてくれるかもしれません。1冊の本との出会いが大きな可能性をひろげ、君たち一人ひとりの創造力を掻き立てて、未知なる世界への扉を開いてくれる可能性を秘めていると思います。知ること、想像すること、ワクワクすること、そして、学ぶことなど、本との出会いの中でひろがる「読書」の楽しさを、一人でも多くの人に感じとってもらいたいと思っています。穏やかな季節となったこの時期に、是非何か1冊でかまわないので、本に目を通して、自分自身が持つ視野をさらにひろげていってほしいと考えています。自分自身が興味を持っていること、知りたいと思ったような出来事、きっかけとなることは、人それぞれ違うのは当たり前のことです。不朽の名作といわれるような文学的な作品だけでなく、歴史小説や、ミステリー、ノンフィクションに、エッセイや、アニメや映画化された作品の原作本や、ファンタジーなど、君たちの好奇心をくすぐるような本がたくさん出版されています。街の大型書籍店や、地域図書館に出向かなくても、学校の図書室には、君たちにお薦めの本もたくさん蔵書されています。昼休みや放課後のほんの少しの時間を見つけて、一度図書室に足を運ぶことを是非ともおすすめします。本を読みなれていない人も、きっとたくさんいるかとは思います。でも、一度「本がつくりだす世界」に入り込んでしまうと、夢中になって時間が過ぎていくことを忘れてしまうようなことも、よくあることです。「読書の旅」を通じて、君たち一人ひとりに、今まで感じたこともないような新しい世界が広がっていく楽しさを、見つけてほしいと願っています。

## ◆ 文化祭に向けて

今年のスローガンは、「心は Zero distance!～心の距離は0m、みんなで一つに～」です。厳しい状況が続く今だからこそ、みんなの心の距離を縮める文化祭にしようという思いが込められています。9月から幕間ショーの募集も始まり、音響・照明講習会も行われました。10月に入ってからは、15日には幕間ショーのオーディション、そして、19日からは文化祭実行委員や各クラスの文化委員の生徒の皆さんを中心に、各学年や各学級での本格的な取り組みがスタートし、いよいよ今週末の30日(金)には、文化祭の本番を迎えることとなります。各学級や各学年で話し合いをすすめながら、台本をつくりあげ、創意工夫を凝らしながらも、伝えたいメッセージを舞台発表という形でどのように表現するべきか、考えた成果が文化祭当日には発揮されることを大いに期待しています。また、各部活動や各サークル活動の発表の場もあります。練習の成果が納得のいく形で観客である生徒の皆さんにも、感動という形で伝わることを願っています。文化祭当日までに残された時間は限られていますが、努力することを惜しまず、最後まで全力を尽くしてください。

